



塩へすが通る

大沢集落から山田の街に行く時、必ず六角塔前を越えます。

当時は道幅も狭く、山側は杉林が深く昼間でも暗く、時々キツネが出没するといううわさもあり、歩いて通行することは大変寂しいところでした。「六角塔」とは、鞭牛和尚さ

みんなのスペース

皆さんから寄せられたお便りや作品を紹介します。「広報やまだ」の感想などもお寄せください。

んの「道路普請供養塔」

が建立されているところで、国道45号線沿いの山田と大沢の境い目あたりです。最近杉林が伐採され、林の奥から山の頂上まで見えて明るくなっています。

昔々、大沢のおじいさんが夕暮れにほろ酔いで帰宅途中、六角塔

前に色白で細面の美人が現われ、親切に話し掛けられた。気が付くとおばあさんへのお土産が無くなっていった。このような事が度々あって、ある時現われた女

の手首を「ギユッ」と握ったまま自宅まで連れ帰り「今後、人間に悪さをすんな」と約束をし、

キツネの口の中いっぱいに塩を詰め込んで逃がしてやった。以来、おじいさんが六角塔前を通ると山の奥の方から「塩へすが通るう」、「塩へすが通るう」と叫ぶ声

がするんだそうだ。おじいさんは「ハハアアあの時のキツネだあな」と思いながら家路を急いだそうだ。

さて、「塩へすが通る」と叫んだキツネさんの子孫様たちは今どちらに引越されたのかしら：と思ひながら、明るく快適になった六角塔前を車で通行しています。

大川 ヒメ子（大沢・69歳）

応援ありがとう

奈良県大和郡山田市郡山小学校5学年、尾川真輝、竹田玲奈、高本美羽さんの御三方より広報やまだを通して世紀の大震災に思いをいたし、山田町そして町民の方々に温かく大きくお見舞いと励ましの言葉をくださりました。ありがたく町民の一員として御三方の行動と厚意に大きな感動と感激を覚え、心から大きく感謝を申し上げます。ありがとうございます。

わたしの住む岩手県山田町は、震災で死者・行方不明者が800人。家屋も町内の約半数におよぶ3369棟が全壊・半壊しました。

わたしにも小学5年の時代がありました。奈良と岩手、今も歴史と文化の違いはあろうが、



日本国を思う心は同じ。御三方ももうすぐ中・高・大学。大きく勉学に励んで世界一の日本国にしてください。山田町は、陸中国立公園南北200⁺の長さのほぼ中央に位置しており、前面に風光明媚なる山田湾を有し、漁業と優れた政治家を輩出した町として有名です。日本国で数多くの内閣総理大臣を輩出している岩手県。その中に第70代内閣総理大臣鈴木善幸氏、現外務副大臣鈴木俊一氏、そして県議会議員の佐々木俊夫氏もわが山田町のご出身であり、わが町の大きな誇りです。御三方、学業の余裕ができましたら山田まで足を延ばしてください。お待ちしております。お見舞いと応援のお礼まで。

山崎 卓三（大浦・84）

5月端午の節句

桜3月、菖蒲は5月と言ったことわざは、旧暦がぴったりで、今現在では新暦で、端午の節句といえ、男の子の誕生を祝い成長を願う節句であります、新暦のため肝心の菖蒲は、まだ芽を出したばかりの時期です。

古くから全国的に伝わっている、今なお、守り伝わっている事はたくましく健やかな成長を願い、大空を泳ぐ大きなこいのぼり。床の間には、熊にまた

がつた金太郎やかぶとを飾り、端午当日は最高のごちそうを振る舞い、加えて玄関の軒先には菖蒲やヨモギを差し、疫病をはらい、風呂にも菖蒲を入れた菖蒲湯につかり健康の増進をはかるなど、今なお伝えられている。先人の知恵のすばらしさを痛感させられます。

医療の充実も乏しい時代にあつて、さまざまな薬草のデーターを集め、苦労しながらも根強く現代まで伝えられている事は、誇れることだろうと思ひます。そうした中であつて残念ながら、今は行われていないものは、縄に結んだ、菖蒲をからませ引き合う綱引きです。

今は全く見る事がないこの綱引きなど、協力して何かを行うと言う事は、子どもたちの交流にもなると思うから伝承してほしい行事だろうと思います。

西館 隆（船越・79）



フレッシュ
ウーマン

前山 歩香さん（大沢・22）

子どもたちと明るい未来へ

「子どもと接する仕事は初めてで、戸惑いもありましたが子どもたちが気さくに話し掛けてくれるので楽しく仕事をすることができます」と話すのは、前山歩香さん。町生涯学習課が実施している放課後子ども教室で、放課後安全指導員コディネーターとして勤務しています。

同教室は、小学校の空いている教室などを活用して、放課後や週末などさまざまな体験活動や地域住民との交流活動を通して子どもたちを支援するものです。前山さんは、主に指導員のサポートや子どもの受け入れ、学校との連絡調整、予定の組み立てなどの業務を行っています。仕事の印象については「わたしは人見知りなので最初は不安でしたが、子どもたちが明るく接してくれてすぐに打ち解けることができました。子どもたちへの接し方など、まだまだ勉強することがたくさんありますが、毎日がとても充実しています」と、笑みがこぼれます。

今後の町に望むことを尋ねると「町の復興を応援してくれている人がたくさんいます。子どもたちと一緒にゆつくりでも復興へ進み、以前よりいい山田にしていきたい」と、明るい未来へ子どもたちと一緒に歩み出します。

明日に

希望を

町民グラウンドに入居している皆さんの主催で、たのしい催しがあることを友人から聞きましたので、参加しました。4月14日と5月10日、山田体育館で午後1時から始まりました。会場には「が

んばろう山田カラオケ大会」と掲げられ、暗いことばかりではないとほっとしました。踊りの数々に、老若の演歌やナツメロに拍手喝采。また、仮設生活を「きみまろ調」の寸言で語り、爆笑でした。それに観察力のするどさに感嘆。皆さんが明日に希望を持ち、前向きに生きましようとの意欲と熱意に感動しております。

また、同じ道を歩む、他の仮設の人たちも歓迎していただき重々お礼申し上げます。そよ風が会場いっぱいになり明るい雰囲気になり、和むひとときでした。町民グラウンドの有志の皆様応援しております。

菊地 サカエ（織笠・78）



やまだ文芸広場

痩せ蛙^{がえる}田植えの

水を待つておる

佐藤 兼男（荒川・86）

スーパーが出来て

田舎も街となる

日に三度

薬のために食事とる

優しさに

あふれる顔に人は寄る

何時までも

元気と思うわがままさ

芳賀 誠一（豊間根・72）

内館 洋一（飯岡・69）

春の夕陽がひととき注ぐ

タンポポの群れ咲き乱れ

道野辺に

震災の傷跡いずこ山田町

雑草伸びしどこもかしこも

生きていて

合いよる事のあれかしと

心に秘めて神にいのるも

昆 ユリ（織笠・？）

ニッコリ笑って

ニッコリ笑って、

みんなで、ニッコリ 日光浴

佐藤 啓子（山田・？）

作品を募集中！ イラスト 写真 文芸 投書

皆さんが書いた作文、写真など、広報やまだに掲載していませんか。皆さんからのご応募、お待ちしております。

◆あて先・問い合わせ 〒028-1392（住所不要）山田町役場 総務課情報係（内線417）へどうぞ。